

修正



報道関係者各位

令和5年1月12日

令和4年度 第4回企画展

「うるまの島の引き揚げ～もう一つの引き揚げ～」を開催します

第二次大戦後、米軍の統治下へ分離された沖縄でも外地（海外）からの引き揚げが行われ、戦後の復興が始まりました。

沖縄の古語で美しい島を意味する“うるま島”は激しい地上戦によって一面焼け野原となりましたが、引揚者の持ち帰った知識や国際的な視点が戦後復興に貢献したともいわれています。

本企画展では、沖縄での引揚港となった中城村久場崎（なかぐすくそん くばさき）にあったもう一つの引揚港にスポットをあてた展示をおこないます。

1. 展示期間

令和5年1月21日（土）～ 令和5年4月16日（日）

※展示期間中の休館日：2月16日（木）、3月16日（木）

4月5日（水）、4月12日（水）

※令和5年4月より毎週水曜日が休館日

修正点

＜修正前＞

4月5日（水）～4月12日（水）

↓

＜修正後＞

4月5日（水）、4月12日（水）

2. 場所

舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室（企画展は無料。別途入館料が必要です）

3. 展示概要

アメリカ軍政下における沖縄県中城村久場崎での引き揚げについて、解説パネルや米軍撮影の写真の展示をおこないます。

4. 展示資料 総点数 33点

米軍撮影写真パネル・・・・・・・・・・・・・・・・7点

解説パネル（内米軍撮影写真入り14点）・・・・・・・・24点

シベリア抑留から沖縄へ帰還した県出身者の引揚証明書・・1点

シベリア抑留から沖縄へ帰還した県出身者の体験手記・・1点

5. その他

今回の展示は令和4年3月に沖縄・中城村護佐丸歴史資料図書館で開催した当館の巡回展が縁となって実現したものです。



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）

〒625-0133 舞鶴市字平1584

TEL: 0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370

E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp

6 主な展示資料



米軍が設置した久場崎の栈橋を渡る沖縄県出身者
昭和20年(1946)8月米軍撮影



久場崎の栈橋に向かって接岸する引揚船
昭和20年(1946)8月米軍撮影



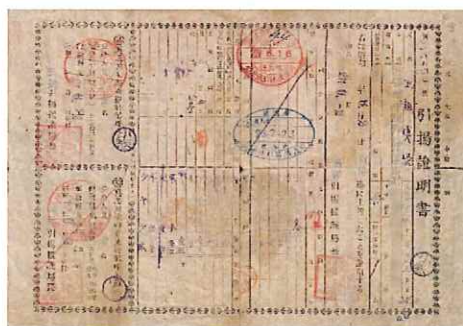
久場崎に上陸を果たした沖縄出身の引揚者
昭和21年(1946)8月米軍撮影



久場崎に上陸を果たした沖縄県出身者
昭和20(1946)8月米軍撮影



久場崎の引揚者施設の職員
昭和21年(1946)頃に米軍が撮影した
とみられる写真。



沖縄県出身者の引揚證明書
外地から引き揚げてきたことを証明する書類。昭和23年(1948)6月2日に信濃丸でシベリアへ帰還したことが記されている。シベリア抑留を経て舞鶴へ上陸後、佐世保から沖縄へ帰還した。